



発信年月日：平成29年12月21日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-23-1117
企画総務部 企画政策課	伊藤 和久	広報広聴係長 村上 公章		FAX 0837-22-5358
件名	平成29年 長門市の主な動きについて			

平成29年の1年間の主な動きをまとめましたので、下記のとおりお知らせします。

記

観光・イベント

元乃隅稻成神社の観光客が昨年より増加・CNN社に長門市長特別表彰

- ・CNNの「日本の最も美しい場所31選」に選出され以来、多くの観光客が訪れている元乃隅稻成神社。今年も昨年以上の観光客が訪問し、今年は100万人を超える見込み。
- ・11月13日、アメリカのニュース専門放送局CNN(Cable News Network)社に長門市長特別表彰を授与。同社では、平成27年3月30日に「日本の最も美しい場所31選」として、元乃隅稻成神社を選定し、ウェブ上に発表。その反響や効果は大きく、本市の観光振興に多大な活力を与えたことから特別表彰を授与。授与式には、CNN東京支局から若月陽子プロデューサーが出席し、大西市長から表彰状と記念品を受け取った。

俵山で「ONSEN ガストロノミーウォーキング」

7月15日、俵山地区で「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」が開催。その土地を歩きながら、食や歴史、文化を楽しむ旅のことを「ガストロノミーツーリズム」と呼び、温泉の要素を加え、約8kmのウォーキングを通して温泉地の魅力を全身で味わおうと企画された本イベントには、市内外から約130人が参加。里山の風景を眺めながら、仙崎かまぼこや地酒、俵山産の野菜やしそジュースなど地元の食材を味わった。

長門湯本温泉観光まちづくりの取り組み

第1回長門湯本温泉観光まちづくり推進会議の開催

5月9日、長門湯本温泉の再生を目的とした「長門湯本温泉観光まちづくり計画」の推進を図るため、地域の意見や専門的見地を踏まえて審議を行う「第1回長門湯本温泉観光まちづくり推進会議」を湯本観光ホテル西京で開催。長門湯本温泉観光まちづくりが本格的にスタート

恩湯に感謝を込めて ～Thanks ONTO～

5月20日、長年地域住民に愛され、長門湯本温泉の象徴とも言える「恩湯」にこれまでの感謝を込めつつ、これからのまちづくりを語り合うイベント「Thanks ONTO」が恩湯周辺で開催。

長門湯本の未来を体感 ～社会実験を実施～

地域の将来像を具体化してより良い地域経営に向けた検証と改善を行うことを目的に、9月16日から10月9日までの間、社会実験を実施。川床の設置など河川空間の活用や照明デザインによる夜間景観の演出、交通機能の再編による空間活用が実験的に行われたほか、「おとずれリバーフェスタ」も開催され、多くの人出でにぎわった。15日には星野リゾートの星野代表も視察、計画の進捗具合を確認した。

スポーツ・国際交流

ラグビーW杯およびオリンピックパラリンピックホストタウンに向けた取り組み

- ・自動車の図柄入りナンバープレート第1弾としてラグビーW杯2019大会を記念した「ラグビーW杯特別仕様ナンバープレート」が交付開始され、4月3日、山口県自動車振興センターで交付式が行われた。市公用車6台についてラグビーW杯特別仕様のナンバープレートに交換した。
- ・7月1日、俵山スパスタジアムで、ジャパンラグビートップリーグのオープン戦「パナソニックワイルドナイツ vs 宗像サニックスブルース」が開催。地域住民や市内外のラグビーファンなど約2,000人が迫力ある試合を観戦。
- ・9月、俵山多目的交流広場の再整備に着手
- ・11月13日、長門市からオリンピック選手の創出を目指す7人制女子ラグビーチーム「ながとブルーエンジェルス」が始動。14日から17日までの間、市内で強化練習や小学生へのラグビー教室などを実施。来年は5月から開催される「太陽生命ウィメンズセブンスシリーズ」や、国民体育大会など、各種大会・シリーズへの出場が予定されている。

第1回JAL向津具ダブルマラソン

6月11日、油谷総合運動公園をスタート・ゴールとして「第1回JAL向津具ダブルマラソン」が開催。84.39kmのダブルフルマラソン、42.195kmのシングルフルマラソン、約30kmの棚田ウォークに合計823人の選手が参加。元乃隅稲成神社や千畳敷をはじめ、立石観音や東後畑の棚田など、景色を楽しみながらゴールを目指しました。

国際交流が本格的にスタート

ロシア連邦クラスノダール州ソチ市の訪問団が12月17日から20日の日程で長門市に来訪。18日、両市の共同イベントの開催や各種団体に対する支援などについて協力しあう旨を書面にした「長門市およびソチ市間の協力に関する共同声明」を発表した。

産業振興

6次産業化を支援する「ながとラボ」オープン

4月21日、生産者や地元事業者のニーズとアイデアを集結し、地域産品の付加価値を高めるための拠点として、長門市6次産業化支援施設「ながとラボ」が長門市西深川に完成、開所式が行われた。「ながとラボ」では、これから6次産業化に取り組む人が、専門家のアドバイスを受けながらさまざまな地域産品を使って新商品の研究、開発、販売ができるようにサポートする。

センザキッチンがオープン

- ・10月7日、仙崎地区交流拠点施設「センザキッチン」の農林水産物等直売所・レストラン棟がオープン。関係者でテープカットを行い、完成を祝った。来年4月に情報発信施設やフードコート、木育交流施設が完成し、道の駅としてグランドオープンする予定。
- ・11月16日、センザキッチンの来場者が10万人を突破し、10万人目の来場者に記念品が手渡された。41日目での10万人突破。
- ・平成29年11月17日付で県内24番目の道の駅としてセンザキッチンが登録されたことから、道の駅登録証の授与式が11月27日、長門市役所で行われた。国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所の廣川誠一事務所長から長門市長に対して登録証を授与。

文化

金子みすゞ・金澤翔子展が開幕

7月22日から8月30日までの間、ルネッサながと文化情報ギャラリーおよび金子みすゞ記念館、香月泰男美術館を会場に「金子みすゞ・金澤翔子展～ひびきあう詩と書～」が開催された。

「シベリヤ・シリーズ」が3年ぶりに里帰り 香月泰男美術館企画展

7月28日から、11月27日まで、展覧会「香月泰男 平和の形—シベリヤの記憶と愛した日常—」が開催。本展覧会では、山口県立美術館に所蔵されている香月の代表作「シベリヤ・シリーズ」全57点のうち、「雲」「朝陽」「鷹」「渚（ナホトカ）」「絵具箱」の5点を、3年ぶりに香月泰男美術館で公開。

地域づくり

企業・団体と包括連携協定を締結、それぞれと連携して地域活性化を図る

7月26日／株式会社丸久 7月30日／株式会社モンベル
9月22日／山口銀行・YMFG ZONEプランニング 11月20日／萩信用金庫

新たに4人の地域おこし協力隊が着任

5月に3人（宇津賀地区担当、観光担当、木育担当）、11月に1人（仙崎地区担当）の新たに4人の地域おこし協力隊が着任し、12月時点で8人の隊員が活動中。

施設整備関連

新しいリサイクル施設が竣工

3月30日、長門市清掃工場リサイクル施設が洪水地区に完成し、自治会や環境団体関係者、施工業者らが出席して竣工式を開催。平成27年4月に萩市と共同で「萩・長門清掃工場はなもゆ」が稼働したことから、以前にあった焼却施設を解体・撤去し、その跡地を利用してその他プラスチック製容器包装類およびその他紙製容器包装類のリサイクル施設を建設。

ながとスポーツ公園が供用開始

4月23日、長門市東深川滝の下に新たに整備された「ながとスポーツ公園」の供用開始式典が行われ、関係者らが出席。平成24年度に事業化され、5年間で整備。施設はサッカーやラグビー競技が行える人工芝の多目的広場や日本グラウンドゴルフ協会認定コースとなっている天然芝のグラウンドゴルフ場、一周が1kmと716mの2コースが選べるジョギングコース、管理棟やトイレ棟、芝生広場が整備。

長門市消防新庁舎が竣工

平成28年12月から運用が開始されている長門市新消防庁舎は、6月末に旧庁舎の解体や駐車場の整備などすべての工事が完了し、7月12日に竣工式を迎えた。平成24年度に着手されたこの庁舎は、地上4階建ての消防庁舎・副訓練塔、地上5階建ての主訓練塔、油庫や駐輪場から構成され、総事業費は約16億3,000万円。

行政関連・その他

第2次長門市総合計画策定

3月に第2次長門市総合計画を策定。計画期間は平成29年度から10年間で、「ひとが輝き、やさしさがこだまするまち長門」を市の目指すべき将来像とし、重点施策「やさしさいくる」と7つの基本目標を設定。

市役所新庁舎実施設計が完成

市役所新庁舎の基本設計をまとめた実施設計が9月に完成。平成31年8月の完成を目指して工事を進める。新庁舎は木造と鉄筋コンクリート造のハイブリット構造で、延床面積7,000㎡を超える木造庁舎としては全国でも初めて。

ほっちゃテレビに指定管理者制度を導入

10月1日から、長門市ケーブルテレビ「ほっちゃテレビ」の管理運営に指定管理者制度を導入。民間事業者のノウハウを活用し、サービスの向上とより効率的な運営を目指すもので、「ながとてれび株式会社」が管理運営を行う。